CNA レポート・ジャパン
Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan
創刊：1999 年 12 月
発行日：毎月 15 日・月末
PDF による発行
オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ　Vol. 28 No.2 2026 年 1 月 31 日

製品・サービス動向-国内

■エレコム：省スペースで高品質な通話環境を実現、Bluetooth＆有線タイプと有線タイプの２タイプの会議用スピーカーフォンを新発売

（PRTIMES:1 月 20 日）

エレコム株式会社（https://www.elecom.co.jp/）（大阪市中央区）は、円形型デザインにより省スペースを実現しながら、高品質な収音とクリアな音声を再生できる、“Bluetooth＆有線タイプ”および“有線タイプの２タイプ”の会議用スピーカーフォンを新発売した。オープン価格。各種 Web 会議アプリ（Zoom、Microsoft Teams、Google Meet、Cisco Webex）に対応する。

350ml 缶サイズのコンパクトなボディ（エレコム）

この２タイプの会議用スピーカーフォンは、２つの無指向性 MEMS マイクが 360°全方位から複数の音声を逃さず集音。半径 2.5m の範囲を集音できるので、4～6 人程度の会議室におすすめという。また、大口径 40mm のスピーカードライバーユニットを搭載し、聞き取りやすいクリアな音声を実現する。

本体は、350ml 缶と同等サイズの円筒形デザインにより、デスク上でも邪魔にならず、省スペースで設置できるようになっている。基本操作を天面に集約し、タッチセンサーにより操作音が発生しにくい設計となっている。また、エコーキャンセラー、オートゲインコントロール、ノイズリダクションなど高品質な通話環境を実現する機能を搭載しており、ヘッドセットを使って周囲を気にせず通話することも可能となっている。

Bluetooth＆有線タイプ「LBT-SP02M2BK」については、USB バスパワー給電に加え、内臓バッテリーも搭載しているため、給電ポートがない場所でも使用できる。また、最大約 12 時間の連続通話に対応しているため、長時間の会議でも安心という。

使用イメージ（エレコム）

一方、有線タイプ「HS-SP02M2BK」については、パソコンの USB ポートにケーブルを接続し、電源を入れるだけでスピーカーとマイクが簡単に使えるようになっている。

なお、本体は、自社環境認定基準を一つ以上満たし、「THINK ECOLOGY」マークを表示した製品となっている。環境保全に取り組み、製品の包装容器が紙・段ボール・ポリ袋のみで構成されている。

■ナイスモバイル：BYOD 環境で即会議を始められる操作性を追求した次世代の会議室向けディスプレイ「ミラーリングディスプレイ III」を発売

（PRTIMES:1 月 22 日）

ナイスモバイル株式会社（https://nicemobile.jp/）（長野県松本市）は、1 月 22 日に会議室用ディスプレイ MAXHUB「ミラーリングディスプレイ II」の後継機種として、MAXHUB「ミラーリングディスプレイ III」を 1 月 22 日に発売する。価格はオープン。

MAXHUB ミラーリングディスプレイ III(ナイスモバイル)

本製品は、PC・タブレット・スマートフォンからワイヤレス投影できるスムーズさと、BYOD（Bring Your Own Device）環境で即会議を始められる操作性を追求した次世代の会議室向けディスプレイ。

会議室では「投影までに手間取る」「端末や OS の互換性の問題で映せない」「接続方法が会議室の設備によって違う」などの理由で、会議の進行が止まってしまうケースが少なくない。こうした表示のつまずきは、議論の流れを絶ち、意思決定の遅れや生産性の低下につながる。そこで今回同社は、会議を止めない投影環境の構築を目指したミラーリングディスプレイ III を発売する。

本製品は、PC・タブレット・スマートフォンからワイヤレスで画面投影を完了でき、情報共有を誰でも迷わず行えるという。AirPlay/Miracast/Chromecast/専用アプリ「MAXHUB Share」/ワイヤレスドングル（2 個付属）といった多様な投影方式に対応しており、全機種以上に環境に合わせて柔軟かつ容易に投影できるようになっている。

さらに、外部入力（HDMI/USB Type-C）映像を Android 画面に小さなウィンドウを重ねて同時に表示する「PIP（Picture In Picture）」、左右に分割して同時に表示する「PBP（Picture by Picture）機能」が追加され、資料投影しながら WEB 会議参加者の表情を見られるようになった。

加えて、サイズラインナップは 43～98 型の 7 種類を用意しており、会議室の規模に合わせて最適な商品を選べるようになっている。スピーカー出力は 16W x 2 へ強化し、共有コンテンツの視聴・音声面でも会議体験を底上げしている。ナイスモバイルは今後も、会議の流れを止めない環境づくりを通じて、企業のコミュニケーションの質向上と生産性の向上に貢献し、会議の DX を支援していくとしている。

サイズ		MH-NM43CMB	MH-NM50CMB	MH-NM55CMB	MH-NM65CMB	MH-NM75CMB	MH-NM86CMB	MH-NM98CMB
商品コード		43型	50型	55型	65型	75型	86型	98型
ディスプレイ	解像度 H×V	3840 × 2160						
	最大輝度(標準)	500 cd/㎡						
オーディオ	スピーカー出力	16 W × 2						
入出力	HDMI	HDMI IN 2.0 × 3、HDMI OUT 2.0 ×1（HDMI IN 2、3信号のスルー出力）						
	USB Type-A	USB Type-A（USB3.0 ×1、USB2.0 ×1）、USB Type-C×1			USB Type-A（USB3.0 ×1、USB2.0 ×2）、USB Type-C×1			
	RJ45	RJ45 IN× 1、RJ45 OUT× 1						
	Wi-Fi	Wi-Fi 6 (2.4 GHz / 5 GHz)						
専用OS	Androidバージョン	Android 14.0						
電力	消費電力(最大)	105 W	110W	126 W	133 W	169 W	247 W	337 W
同梱品		電源コード、HDMIケーブル、USB延長ケーブル（0.3m）※43 / 50 / 55型のみ、リモコン、壁掛け金具一式、保証書（3年）、ワイヤレスドングル × 2						

モデル一覧（ナイスモバイル）

導入利用動向-国内

■Neatframe：青森県が高校向け遠隔授業インフラを整備

（PRTIMES:1 月 9 日）

Neatframe 株式会社（https://neat-japan.com/）（東京都千代田区）は、ビデオ会議デバイス Neat（ニート）製品が青森県教育庁（https://www.pref.aomori.lg.jp/）に導入されたことを発表した。

青森県では、地理的条件や学校規模による教育課程上の制約を補完し、県内どこからでも質の高い授業を受けられる仕組みづくりを進める取り組みが行われており、Neat 製品が同県下の遠隔授業で活用されることになった。

青森県教育庁では令和５年度から令和９年度までの計画期間とする青森県立高等学校教育改革推進計画第２期実施計画において、個別最適な学びと協働的な学びを実現する観点から、教員による従来の対面指導に加え、インターネットの活用による遠隔教育やオンディマンドの動画教材など、学習場面に応じて効果的に ICT を取り入れた授業づくりを進めることとしている。加えて、県の教育施策の大綱においても、遠隔授業の実施による多様な学びへの対応が掲げられていることを踏まえ、遠隔教育に取り組むこととした。

遠隔授業で多様な学びを実現している青森県（Neatframe）

青森県内に「遠隔教育配信センター」（仮称）を設置し、大分県などで実績のある Neat の遠隔授業ソリューションを導入した。この仕組みにより、配信センターの教員は、IT 機材の複雑な操作を覚える必要がなく、普段の対面授業と同じような感覚で授業を行うことが可能になった。

令和 7 年度において 5 校に Neat 製品を導入。令和 9 年度から生徒の多様な学習ニーズに応じた教科・科目を開設し、専門性を備えた教員による質の高い授業を配信する実証を行った上で、令和 10 年度までの 4 年間で遠隔教育の基盤を構築することとしている。

青森県庁高等学校教育改革推進室指導主事によると「学校現場で遠隔授業が普及してこなかった背景には、機器の準備や操作の複雑さがあり、多くの教員が不安をかかえていた。」という。Neat のシンプルな構成は、必要な操作を最小限にし、教員が迷わず授業を始められる点が特長と指摘。同県では実際の映像や音声の明瞭さ、広い集音範囲にも驚いたという。こうした特性は、学校現場での遠隔授業をより円滑にし、教育機会の確保に役立つと期待している。

セミナー・展示会情報

＜国内＞

■もう会議で悩まない！準備・進行・記録を一気に効率化する会議運営のベストプラクティスとは？
日時：2 月 4 日（水）11:00～12:00
会場：オンライン
共催：Neatframe 株式会社/ダイトロン株式会社/
株式会社アドバンスト・メディア
詳細・申込：https://voxt-one.advanced-media.co.jp/webinar/20260204/

■ブイキューブセミナー情報（2 月）
「失敗しない「社内コミュニケーションスペース」の作り方」
「もう音漏れに悩まない！個室ブースの防音体験会!!」など
会場：オンライン/オンディマンド/東京
主催：株式会社ブイキューブ
詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/all

国内その他：https://cnar.jp/cna/event-j.html
※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

オンライン会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議＆UC トレンドワッチ）
https://www.facebook.com/unifiedcom
■X（旧：Twitter）（遠隔会議＆UC トレンドワッチ）
https://twitter.com/cnarjapan

■メーリングリスト（dtc-forum）
https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。
https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm

お知らせ（重要）

―配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を 2024 年 10 月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dtc-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

>CNA レポート・ジャパン サイト
https://cnar.jp
>X(旧ツイッター)
https://x.com/cnarjapan
>facebook ページ
https://www.facebook.com/unifiedcom
>メーリングリスト（dtc-forum）
https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html

■CNAレポート・ジャパン 2026年1月31日号
ホームページ: https://cnar.jp
お問い合わせ：inquiry@cnar.jp